

## 第25回八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日	時	平成27年5月25日(月) 10:00~11:30
場	所	八王子市保健所別館1階会議室
議	題	<p>議事</p> <p>(1) 平成26年度事業報告及び平成26年度決算について</p> <p>(2) 平成27年度事業計画(案)について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 小津町地域バスの乗車状況及び運行について</p> <p>(2) 降宿醍醐地域タクシーの乗車状況について</p> <p>(3) 八王子市地域循環バス「はちバス」の運行について</p> <p>(4) 事業者からの報告(各事業者)</p> <p>(5) (仮称)公共交通活性化計画について</p> <p>その他</p>

### ●議事(1) 平成26年度事業報告及び平成26年度決算について

#### 【事務局説明】

- ・H26年度の事業である山間地域交通改善モデル事業小津町、山間地域交通改善モデル事業・降宿醍醐地区、バスロケーションシステムの導入に関し、それぞれの概要、事業費等について事務局より説明した。

#### 【主な意見、質疑】

- ・特になし

【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】

### ●議事(2) H27年度事業計画(案)について

#### 【事務局説明】

- ・平成27年度事業計画(案)として、山間地域交通改善モデル事業(小津町、醍醐・降宿地区)、バスロケーションシステムの導入に関し、それぞれの概要、事業費等について事務局より説明した。

#### 【主な意見、質疑】

(委員)

- ・バスロケーションシステムは有用だが、現状どの様に進んでいるのか、又市内全域に行き渡るのか計画を教えて欲しい。

⇒(西東京バス株 委員)

- ・2011年度末から路線バスの全車両にGPS装置を配備済みである。PCや携帯電話等で現在位置や到着までの時間を確認出来るバスロケーションシステムを導入している。停留所の案内表示機は駅を中心として、約40機整備済みである。今後は駅に向かう側に整備していくが限定した箇所(八王子市役所や道の駅等)に限られる。その理由はシステムの構造上、停留所に上屋(屋根)がないと設置できないためである。また、上屋設置は歩道幅員等の制限があるため、2015年度については設置未定である。

⇒(京王バス株 委員)

- ・H25年度末にバスロケーションシステムを導入しており、携帯端末、HP等で見られる。停留所の案内表示機は八王子市内2箇所のみ設置している。現在システム導入がされていない地域を優先し増設が進んでいないが、予算確保出来次第、設置する箇所を増やしていきたい。

⇒(神奈川中央交通株 委員代理)

- ・全車両全営業所にバスロケーションシステムを導入完了した。停留所の案内表示機については現在検証中であり、計画していない。

(委員)

- ・山間地域交通改善モデル事業について、小津町地域で運行便数は減っているのに、事業費が増加している理由は何か。減便に対して地元と話し合いはなされたのか。

⇒（事務局）

- ・H26年に国土交通省より「貸切バスに関する新運賃・料金」が示され、「貸切バス」として運行している小津町地域バスの事業費が約1.7倍となった。
- ・全体の金額があがると地元負担も増えるため、地元と話し合いを重ねたが、H27年度からは前年度と地元負担が同程度になるよう、乗っている便を精査し減便することとした。金額的には3便だとこれまでの地元負担を変えないで運行することが出来るが、利便性を考えると4便は確保したいという地元の意向があったため、それにあわせ4便とした。

（会長）

- ・補足説明をすると「貸切バス」の運賃を値上げしたというよりは、元々決まっていた本来の運賃をきちんと取りなさいという制度になった。その結果として、きちんと定められている貸切バス運賃を適用すると従来の運賃より上がってしまった。小津の場合、これまでと同じ便数にすると地元負担も上がってしまうため、便数を調整しながら地元負担が大きくなり過ぎないように形で落ち着いた。

【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】

## ●報告事項

### （1）小津町地域バスの乗車状況及び運行について

#### 【事務局説明】

- ・小津町地域バスの乗車状況について、昨年度より乗車率が微減している旨、事務局より説明した。またスクールバス補助の考え方について資料に沿って事務局が説明した。

#### 【主な意見、質疑】

（会長）

- ・4月から変更してからの利用状況や便毎の傾向、速報値等、事務局で何か把握しているか。

⇒（事務局）

- ・乗車人数は事業者より報告されたが、まだ分析出来ていない。ただ地元には、減らした3、4、5便に関する要望が寄せられていると聞いている。2か月は現状の形態で継続し、時間については今後再考することも視野に入れている。

（会長）

- ・当初の経緯の中で八王子市の場合「地域交通事業」を「貸切バス」という形態で運行してきたが「乗合バス」が一般的である。今年度は従来どおり「貸切バス」で運行することとしているが今後は運営形態についても検討していくべきである。

### （2）降宿醍醐地域タクシーの乗車状況について

- ・降宿醍醐地域タクシーの乗車状況について、堅調に乗車実績が推移している旨事務局より報告した。

#### 【主な意見、質疑】

特になし

### （3）八王子市地域循環バス「はちバス」の運行について

#### 【事務局説明】

- ・「はちバス」の利用状況集計について資料に基づき説明。「はちバス」は来年度より利用状況や見直し事業に向けた調査を行っていく予定である。2015年秋頃に「はちバス」乗車人数が累計200万人を突破する見込みである。

#### 【主な意見、質疑】

（委員）

- ・シルバーパスで乗車される方が半数くらいだが、東京都から補助はもらえるのか。

⇒ (事務局)

- ・運賃が路線バスと同じ運賃形態以外はバス協会から補助をもらえず、市の持ち出しとなっている。近隣市と相談しながら都へ要望したり、現時点では障害者の割引についても特に補助はないが、使用できる補助金は利用していきたい。

(会長)

- ・どの路線も堅実に乗車人員が伸びており、西南部コースは特に伸びが大きい。しかし、西南部コースは、1日あたりの利用者がまだまだ少ないので、せめて100人/日の大台に乗せたい。
- ・西南部コースに、より乗っていただけるような仕掛けや提案等があれば皆さんからアイデアをいただきたい。
- ・累計200万人突破の際は事務局で何か行う案はあるか。

⇒ (事務局)

- ・西南部コースについて、皆さんからお知恵をいただければ有難い。市としては西南部コースのある「いちょう祭り」や地元町会との連携等でPRを続けていきたい。
- ・200万人突破の際、何を行うか思案中である。100万人の時は、プラカードを作りPRした。

(会長)

- ・機会を使って話題を作ることも大切なので何か考えてもらいたい。

#### (4) 事業者からの報告 (H27年4月以降の新規バス開設路線)

(京王電鉄バス(株) 委員)

- ・高尾駅南口からグリーンヒル寺田など3路線開設した旨を説明した。

(西東京バス(株) 委員)

- ・宝生寺団地から医療センターなど5路線新設、京王八王子駅から秋川駅路線に戸吹北工業団地内へバス停新設、八王子駅から北八王子駅入口など2路線増回、京王八王子駅から秋川街道系統など1路線運行本数や系統変更した旨説明した。

(事務局)

- ・八王子市内のジャンボタクシーが2台増車された。(欠席した八王子市タクシー合同営業運営委員会から連絡あり)

#### 【主な意見、質疑】

(委員)

- ・市内の工業団地へ向かうバス(八王子みなみ野駅、北八王子駅等)の利用状況、課題を教えてください。

⇒ (京王バス(株) 委員)

- ・みなみ野循環バスが工業団地を経由することになったため、乗客数は増加している。今後の課題としては、八王子みなみ野駅と工業団地の間にバス停を新設したいと考えているが、道路幅員やバス停の前に住んでいる方からの了解をいただく調整を行っているところである。八王子市に協力してもらいバス停の設置を進めたい。

⇒ (西東京バス(株) 委員)

- ・宇津木台路線と北八王子駅の利用乗客数の増加は、オリンパス株式会社が2014年11月から従業員が増加した影響が大きい。日野駅からの路線は乗車しきれない状況が発生しており、臨時増発等で対応していたが2015年度から路線を増やした。「北八王子駅入口」のバス停も利用者数が増加している。戸吹の工業団地の企業は、自社で送迎バスがあるため、現在は送迎バスでまかないきれない夜8時以降バスの運行を行っている。

#### (5) (仮称) 公共交通活性化計画について

##### 【事務局説明】

- ・H21年3月に策定された「八王子市地域公共交通総合連携計画」を改訂し、新たな公共交通活性化計画を立案することとした。計画策定にあたって、活性化協議会の下に「(仮称) 公共交通計画検討科会」を設置したい旨説明した。

**【主な意見、質疑】**

(委員)

- ・計画策定の目的だが、資料9の計画の概要にある「だれもが不便なく移動できるバス路線」を具現化するために「公共交通計画」を策定するのか、「公共交通」としてバス以外の鉄道、自転車、新交通その他も含めた計画なのか、最終的にどのような計画を想定しているか。

⇒(事務局)

- ・「公共交通」の概念は鉄道、モノレール、バス、はちバス、地域交通、タクシーの枠組みになっている。基本的には路線バス、はちバス、地域交通の話と捉えている。自転車については、別途「自転車利用計画」を同時で作る予定だが、「サイクル・アンド・バスライド」施策は自転車計画と施策の連携を行うことになる。鉄道、モノレールは別途シンポジウムや協議会を行っているので、複線化や路線等の話はこの計画の中では考えていない。

(委員)

- ・バスが主体の計画であることは理解したが、道路はこうあった方がいい、駅前広場はこうあった方がいい、というような話はバスに限らず他に波及することはあると捉えてよいか。

⇒(事務局)

- ・その通りである。取り組みとしてできることがあれば、積極的に進めていきたい。

(会長)

- ・補足すると、個々のバス路線ではなく、はちバスや地域交通をどう組み立て、機能や役割分担をしていくかなど市内の全体的なネットワークという観点からの議論をしていきたい。

(委員代理)

- ・分科会に国土交通省は入る予定はないか。

⇒(事務局)

- ・まだ分科会の詳細について精査が出来ていない段階で示した。参画いただけるのであれば、参画いただきたい。

(会長)

- ・制度のすりあわせ等もあるので、入っていただけるとよいのではないか。
- ・分科会に名前が入っている事業者、警察は参加いただけるという認識で問題ないか。

⇒(関係者から特に異議は示されなかった)

- ・最終的な分科会の構成員はいつ頃示されるのか。

⇒(事務局)

- ・6月中に確定したい。可能であれば、市民委員も参加願いたい。

(会長)

- ・開催時期等、日程が若干ずれる可能性はあるが、概ねこの内容と日程で進めていくのでご協力をお願いしたい。全体の会議は間に分科会を挟みながら、分科会の検討事項を受けて議論する。

●その他

**【主な意見、質疑】**

特になし

以上